

第3期 10回目授業

～1時限 徳島文理大学保健福祉学部看護学科 寿田羅先生～
挑戦しよう！！スポーツに



JIFF：日本障がい者サッカー連盟

肢体不自由、内部障害（呼吸障害）や筋ジストロフィーの方がスポーツで参加する。

<2017 WorldCupに向けて>

4年間で12回の日本代表候補選手の合宿に参加（選手・家族、スタッフへの研修。選手自らどのようなメディカルサポートを必要としているか考える。各種医学的検査を実施、自らの問題点は何か把握する。）

→障害者スポーツとは・・・障害を理由にした参加制限を出来るだけ少なくする。障害には隠れたリスクがあることを忘れてはいけない。リスクに対する対策は、選手・家族・支援者等の義務である。

オリンピック選手 平均年齢25歳、パラリンピック選手 平均年齢35歳。（10歳近くリスクも高い）

→緊急時対応が大事！！ あれ？おかしいんじゃない？と気づく事が大事。

ショック（顔面蒼白、冷や汗、虚脱、脈がふれない、呼吸がおかしい）→心肺停止→一次救命処置→AEDを使用する。

大人の傷病者は心原性が多く、AEDが必要となる。

AEDを使用すると、後遺症なく復帰できる確率が2倍になる。

AEDの使い方と人口呼吸のやり方を教わる。



～2時限目 修了式・交流会～

<修了式>

開式のことば

校歌斉唱

修了証書授与（代表：平田 正志さん）

皆勤賞 表彰（代表：河野 ツル子さん、工藤 豊子さん）

お祝いのことば（丸山校長）

お祝いのことば（松田上板町長）

閉式のことば



<交流会>



事務局の中山さんが退職することになり、花束を贈呈しました。

